

首都圏中央連絡自動車道 久喜白岡JCT～坂東IC間舗装工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	図面12/89 I期線4-2すり付け区間標準 横断図	中央分離帯用プレキャスト製剛性防護柵にすり付けるアスファルトコンクリート表層工I(B)(割り増し部)は、機械施工、人力施工のどちらでお考えでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
2	金抜設計書 番号120 コンクリートシール工	施工可能な箇所であればスリップフォームでの施工で考えても宜しいでしょうか。	共通仕様書18-10及び特記仕様書25-8-2を参照のうえ、貴社の施工計画に基づきお考えください。
3	金抜設計書 番号60～77 防護柵	支柱のコア抜き(削孔)費用は計上されていますか。	共通仕様書15-3-7に示すとおり、防護柵を完成するために必要なすべての費用を含むものとお考えください。
4	土木工事共通仕様書 13-4-6 試験舗装	特記仕様書に試験舗装についての記載はありませんが、土木工事共通仕様書によると試験舗装は1,000㎡程度となっています。施工手順上、1,000㎡に満たない工種があります。その場合は施工面積での試験で宜しいでしょうか。 アスファルトコンクリート(A)、(B)で同一混合物の場合はそれぞれ試験舗装は必要でしょうか。	試験施工については、施工面積での試験とお考えください。 なお、舗装施工管理要領1-3(2)のとおり、工種ごとに試験施工を実施する必要があります。